



プレゼンス サービス

- [プレゼンス サービスの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [プレゼンス サービスの制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [プレゼンス サービスについて \(1 ページ\)](#)
- [プレゼンスサービスの構成 \(7 ページ\)](#)
- [プレゼンスサービスの構成例 \(22 ページ\)](#)
- [プレゼンス サービスの機能情報 \(26 ページ\)](#)

プレゼンス サービスの前提条件

- Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョン。

プレゼンス サービスの制約事項

- 話中ランプフィールド (BLF) 通知などのプレゼンス機能は、SIP トランクのみでサポートされています。これらの機能は、H.323 トランクではサポートされていません。
- プレゼンスでは、(**number** コマンドの **dn** キーワードを使用して) SIP 電話機にディレクトリ番号を構成する必要があります。直接回線番号はサポートされていません。

プレゼンス サービスについて

プレゼンス サービス

プレゼンス サービスは、RFC 2778 および RFC 2779 に定義されているように、プレゼンス エンティティ (プレゼンティティ) と呼ばれるソースからプレゼンス情報を検索して取得し、ウォッチャと呼ばれる関係者に配信するためのシステムです。SIP WAN 接続で Cisco Unified CME システムにプレゼンスを設定した場合、電話機ユーザ (ウォッチャ) は、別のユーザのリアルタイムステータスをディレクトリ番号 (プレゼンティティ) でモニタできます。プレゼンスに

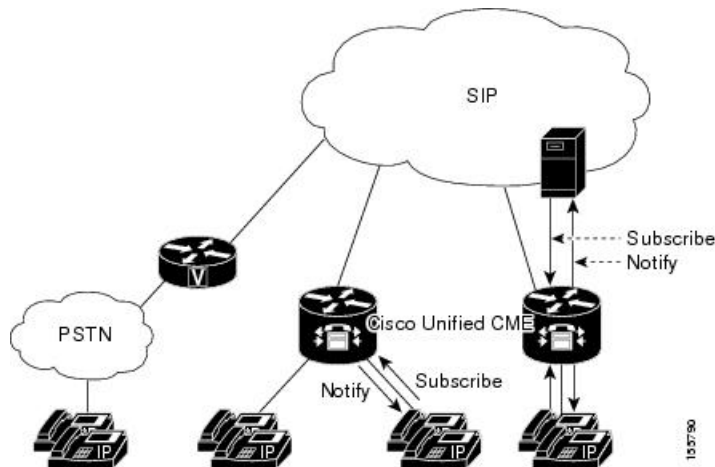
よって、発信側はダイヤルする前に着信側が使用可能な状態にあるかどうかを知ることができます。たとえば、ディレクトリアプリケーションにユーザがビジネスマンであることを表示でき、発信者は相手と通話できなかった場合の時間の無駄を省き、不便さを解消できます。

プレゼンスでは、SIP SUBSCRIBE メソッドおよび NOTIFY メソッドを使用して、ユーザおよびアプリケーションが Cisco Unified CME システムにある電話機の回線ステータスの変化を登録できます。電話機はウォッチャとして動作し、プレゼンティティは電話機のディレクトリ番号によって識別されます。ウォッチャは、プレゼンス要求 (SUBSCRIBE メッセージ) を開始してプレゼンティティの回線ステータスを取得します。Cisco Unified Cisco Mobility Express は、presentity's 状態で応答します。プレゼンティティのステータスが変化するたびに、このプレゼンティティのすべてのウォッチャに通知メッセージが送信されます。SIP 電話機およびトランクは SIP メッセージを使用します。SCCP 電話機は SCCP メッセージでプレゼンス プリミティブを使用します。

プレゼンスはスピードダイヤル ボタンの話中ランプフィールド (BLF) 通知機能と不在履歴、発信履歴、着信履歴のディレクトリ コール リストをサポートします。BLF スピードダイヤル機能と BLF コール リスト機能をサポートする SIP 電話機と SCCP 電話機は、内部および外部ディレクトリ番号のステータス変化通知を登録できます。

図 1: プレゼンスを使用した BLF 通知は、内部ディレクトリ番号および外部ディレクトリ番号に対する BLF 通知をサポートする Cisco Unified Cisco Mobility Express システムを表示します。ウォッチャとプレゼンティティのどちらも Cisco Unified CME ルータの内部にない場合、サブスクライブ メッセージはプレゼンス プロキシ サーバによって処理されます。

図 1: プレゼンスを使用した BLF 通知



電話機の BLF インジケータによって次の回線状態が表示されます。

- Line is idle : この回線が使用されていないときに表示されます。
- Line is in-use : この回線が新規コールを受け付けるかどうかにかかわらず、回線が呼び出し状態のときと、ユーザが回線上にいるときに表示されます。
- BLF indicator unknown : 電話機が未登録であるか、この回線のウォッチが許可されていません。

Cisco Unified CME は、内部回線（SIP と SCCP の両方）にはプレゼンス エージェントとして動作し、SIP トランク経由で接続された外部ウォッチャにはプレゼンス サーバとして動作して、次の機能を提供します。

- 内部回線から内部回線への SUBSCRIBE 要求を処理します。内部サブスクリバにすべてのステータス変化を通知します。
- 内部 SCCP および SIP 回線用の SIP トランクからの着信 SUBSCRIBE 要求を処理します。外部サブスクリバにすべてのステータス変化を通知します。
- 内部回線の代わりに外部プレゼンティティに SUBSCRIBE 要求を送信します。ステータス応答を内部回線に中継します。

SIP トランクからのプレゼンス サブスクリプション要求は認証および承認できます。ローカルサブスクリプション要求は認証できません。

構成情報については、[プレゼンスサービスの構成](#)を参照してください。

DnD、通話パーク、ページング、および会議での ephone-DN の BLF モニタリング

Cisco Unified CME 7.1 よりも前のバージョンの BLF モニタリングでは、モニタするディレクトリ番号が DND 対応になっているときにステータス変化の通知は提供されません。また、通話パークスロット、ページング番号、あるいはアドホック会議またはミーティングの番号として設定されているディレクトリ番号の話中ランプフィールド（BLF）インジケータには、不明の回線ステータスのみが表示されます。

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、通話パークスロット、ページング番号、およびアドホック会議またはミーティングの番号として設定されている ephone-dn（モニタ対象）に対して、アイドル、使用中、および不明状態の BLF ステータスインジケータがサポートされます。このため管理者（ウォッチャ）は、通話パークスロットをモニタしてコールがパーク中でまだ取得されていないかどうか、いずれのページング番号がページングに使用可能であるか、あるいはいずれの会議番号が会議に使用可能であることを確認できます。

パークスロットとして設定されている ephone-dn は電話機に登録されません。

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、モニタするパークスロットがアイドルであれば、BLF ステータスはウォッチャにアイドルを示します。モニタするパークスロットにパーク中のコールがあれば、BLF ステータスは使用中を示します。監視するパークスロットが、**allow watch** コマンドで BLF モニタリングに有効になっていない場合、不明な状態の BLF インジケータがウォッチャに表示されます。

ページングまたは会議用に設定されている ephone-dn も電話機に登録されません。アイドル、使用中、および不明の BLF ステータスのインジケータは、通話パークスロットの場合と同様に、モニタするページング番号およびアドホック会議またはミーティングの番号に対して表示されます。

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、サイレント（DnD）の BLF ステータスインジケータが DnD 状態の ephone-dn に対してサポートされます。ユーザーが DnD ソフトキーを

SCCP 電話機で押すと、その電話機に割り当てられているすべてのディレクトリ番号が DnD 対応になり、電話機のすべてのディレクトリ番号に対するすべての通話でサイレント呼び出しが再生されます。モニタする ephone-dn が DnD 対応になると、ウォッチャの対応する BLF スピードダイヤルランプ（適用可能な場合）は、アイドルおよび使用中の両方の BLF ステータスに対し [サイレント（DnD）] アイコン付きで赤一色の表示になります。

BLF ステータス通知は、モニタする ephone-dn が次のような場合に行われます。

- 1 台のみの SCCP 電話機のプライマリ ディレクトリ番号
- 共有されていないディレクトリ番号
- 共有ディレクトリ番号、およびすべての関連付けられた電話機が DnD に対応

これらの拡張機能をサポートするために、新しい設定は必要ありません。ディレクトリ番号の BLF モニタリングの構成については、[SCCP 電話機を使用するスピードダイヤルと通話リストの BLF モニタリングの有効化](#)を参照してください。

表 1: [ディレクトリ番号 BLF モニタリングの機能の比較](#) は、Cisco Unified Cisco Mobility Express で構成可能な各 BFL モニタリング機能を比較します。

表 1: ディレクトリ番号 BLF モニタリングの機能の比較

モニターモード（「m」ボタン）	ウォッチモード（「w」ボタン）	BLF モニタリング
基本操作		

モニターモード (「m」ボタン)	ウォッチモード (「w」ボタン)	BLF モニタリング
<p>SCCP 電話機のみ。</p> <p>単一の ephone-dn インスタンスをウォッチします。</p> <p>同じ内線を持つ複数の ephone-dn がある (オーバーレイなど) 場合、このモードでは単一の ephone-dn のみ (button コマンドに m を使用して指定) をウォッチします。</p> <p>電話機の DND 状態は示されません。</p>	<p>SCCP 電話機のみ。</p> <p>指定された ephone-dn がプライマリ内線である電話機のすべてのアクティビティをウォッチします。</p> <p>(内線番号が ボタン 1 または auto-line コマンドによって表示されるボタンに表示される場合、その ephone-dn は、電話機の「プライマリ」になります。)</p> <p>efone-dn は共有できますが、他の電話機のプライマリ内線にすることはできません。</p> <p>電話機の DND 状態を示します。</p>	<p>SCCP 電話機および SIP 電話機。</p> <p>同じ (プライマリ) 内線番号を持つすべての ephone-dn インスタンスをウォッチします。</p> <p>BLF ランプは、モニタする内線のいずれかのインスタンスが使用中の場合に点灯します。</p> <p>電話機の DND 状態を示します。</p> <p>(注) BLF モニタリングは、presence エンティティ (presentity) が SCCP 電話である場合にのみサポートされます。SIP 電話機で DND を有効にすると、LED は点灯しません。したがって、電話機ユーザーまたは管理者 (ウォッチャー) には通知されません。</p>
<p>共用回線</p>		
<p>DN が複数の電話機にわたって共有されている場合は、どの電話機が ephone-dn を使用しているのか区別できません。</p>	<p>efone-dn が複数の電話機にわたって共有されているケースのために設計されています。</p> <p>各電話機には一意のプライマリ ephone-dn が必要です。</p> <p>特定の ephone-dn が使用中であることを示す (ボタン m) のではなく、特定の電話機が使用中であることを示すために使用されます。</p>	<p>DN が複数の電話機にわたって共有されている場合は、どの電話機が ephone-dn を使用しているのか区別できません。</p>
<p>ローカル vs. リモート</p>		

モニターモード（「m」ボタン）	ウォッチモード（「w」ボタン）	BLF モニタリング
ローカル Cisco Unified CME システム上の DN のみをモニタします。	ローカル Cisco Unified CME システム上にある DN のモニタのみ可能です。	SIP Subscribe and Notify を使用してリモート Cisco Unified CME 上の内線番号をモニタ可能です。ローカルとリモートを同時にはモニタできません。

デバイスベース BLF モニタリング

デバイスベース BLF モニタリングでは、モニタする電話機（プレゼンティティ）のステータスに関する情報が電話機ユーザまたは管理者（ウォッチャ）に提供されます。

Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョンでは、スピードダイヤルボタン、コールログ、およびディレクトリリストに関連付けられたディレクトリ番号の BLF モニタリングがサポートされます。Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、デバイスベース BLF モニタリングがサポートされ、ウォッチャは電話機の回線だけではなく、電話機のステータスをモニタできます。

BLF ステータスをモニタする電話機を識別するために、Cisco Unified Cisco Mobility Express は、管理するディレクトリ番号が最初のボタンに割り当てられた電話機、または **auto-line** コマンドで選択されたボタンを持つディレクトリ番号の電話機（SCCP のみ）を選択します。複数の電話機が同じ番号をそのプライマリディレクトリ番号として使用する場合には、最も低い電話タグが付いた電話機がその BLF ステータスをモニタされます。

エクステンションモビリティ電話では、ユーザープロファイルに設定された最初の番号は、エクステンションモビリティ電話のプライマリディレクトリ番号を示します。エクステンションモビリティ電話がモニタ対象の場合は、エクステンションモビリティユーザがログインまたはログアウトするとき、あるいはアイドルまたはビジーのとき、対応する電話機の BLF ステータスがウォッチャに送信されます。

モニタする SCCP 電話機で共有ディレクトリ番号がビジーのとき、モニタするデバイスがオンフック状態であれば、モニタする電話機はアイドルと見なされます。

モニタする電話機がページを受信したとき、ページングディレクトリ番号もモニタ対象であれば、ページングディレクトリ番号の BLF ステータスはウォッチャにビジーと示されます。

通話パークスロットとして設定されているディレクトリ番号でデバイスベースモニタリングが有効になっている場合に、このパークスロットにパーク中のコールがあれば、デバイスベース BLF ステータスにビジーと示されます。

電話機に関連付けられたすべてのディレクトリ番号は、DnD ソフトキーが押されると DnD 状態になります。モニタする電話機が DnD 対応になると、ウォッチャに DnD ステータス変更が通知されます。

構成情報については、[SCCP 電話機を使用するスピードダイヤルと通話リストの BLF モニタリングの有効化](#)または[SIP 電話機を使用するスピードダイヤルと通話リストの BLF モニタリングの有効化](#)を参照してください。

BLF スピードダイヤルのための電話機ユーザインターフェイス

Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョンでは、エクステンション モビリティ (EM) ユーザがサービス機能のボタンを使用して電話機で直接 dn ベースの話中ランプフィール (BLF) スピードダイヤルの設定を行うことができます。BLF スピードダイヤル設定は、[サービス (Services)] ボタンで使用できるメニューを使用して、電話機で追加または修正 (変更または削除) されます。電話機ユーザインターフェイスから行われた BLF スピードダイヤル設定への変更は、エクステンション モビリティのユーザのプロファイルに適用されます。ephone または ephone-template モードで、**blf-speed-dial** コマンドを使用して、SCCP 電話機の BLF スピードダイヤルメニューを構成します。詳細については、[BLF スピードダイヤルメニューの有効化](#)を参照してください。

電話機ユーザインターフェイスを使用して電話機ユーザが BLF スピードダイヤルを構成する方法については、Cisco Unified Cisco Mobility Express の「[Cisco Unified IP Phone 文書](#)」を参照してください。

EM 機能が搭載されていない電話機の場合は、BLF スピードダイヤル サービスをサービスの URL ページで利用できます。エクステンションモビリティのない電話機で **no phone-ui blf-speed-dial** コマンドを使用すると、[BLF スピードダイヤル (BLF-speed-dial)] 機能を無効化できます。

プレゼンスサービスの構成

内部回線に関するプレゼンスの有効化

内部ウォッチャおよび SIP トランクからの着信プレゼンス要求をルータが受け付けられるようにするには、次の手順を実行します。



(注) **presence call-list** コマンドはオプションの構成であり、Unified Cisco Mobility Express でプレゼンスを有効にする必要はありません。電話機が電話番号の回線状態または通話リスト (不在着信、発信通話、着信通話リストなど) を監視できるようにするには、**presence call-list** を構成します。



制約事項

- プレゼンティティはディレクトリ番号によってのみ識別できます。
- BLF モニタリングは回線ステータスのみを示します。
- インスタント メッセージングはサポートされません。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **sip-ua**
4. **presence enable**
5. **exit**
6. **presence**
7. **max-subscription number**
8. **presence call-list**
9. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	sip-ua 例： Router(config)# sip-ua	SIP ユーザ エージェント コンフィギュレーションモードを開始して、ユーザエージェントを設定します。
ステップ 4	presence enable 例： Router(config-sip-ua)# presence enable	着信プレゼンス要求をルータが受け付けられるようにします。
ステップ 5	exit 例： Router(config-sip-ua)# exit	SIP ユーザ エージェント コンフィギュレーションモードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	presence 例： Router(config)# presence	プレゼンス サービスを有効にし、プレゼンス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 7	max-subscription number 例： Router(config-presence)# max-subscription 128	(任意) 許可される同時ウォッチセッションの最大数を設定します。 • number — ウォッチセッションの最大数。範囲は 100 からルータのプラットフォームでサポートされるディレクトリ番号の最大数までです。? と入力して、範囲を表示します。デフォルト: 100。
ステップ 8	presence call-list 例： Router(config-presence)# presence call-list	(オプション) ローカルに登録されたすべての電話機の、ディレクトリおよび通話リストのディレクトリ番号の BLF モニタリングをグローバルに有効にします。 • allow watch コマンドでウォッチするディレクトリ番号のみに BLF ステータスインジケータが表示されます。 • このコマンドは BLF コール リストをグローバルに有効にします。特定の電話機向けの機能を有効にするには、 SCCP 電話機を使用するスピードダイヤルと通話リストの BLF モニタリングの有効化 を参照してください。
ステップ 9	end 例： Router(config-presence)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

ディレクトリ番号ウォッチの有効化

ディレクトリ番号に関連付けられた回線を、Cisco Unified CME ルータに登録された電話機でモニタできるようにするには、次の手順を実行します。回線はプレゼンティティとして有効にされ、電話機は BLF コール リストおよび BLF スピードダイヤルの機能によりその回線ステータスを登録できます。回線をモニタできる電話機のタイプに関して制約事項はありません。サポートされる音声ゲートウェイ上のアナログ電話機または任意の IP Phone の任意の回線をプレゼンティティにすることができます。



- 制約事項
- プレゼンティティはディレクトリ番号によってのみ識別されます。
 - BLF モニタリングは回線ステータスのみを示します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn dn-tag [dual-line]** または **voice register dn dn-tag**
4. **number number**
5. **allow watch**
6. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone-dn dn-tag [dual-line] または voice register dn dn-tag 例： Router(config)# ephone-dn 1 または Router(config)# voice register dn 1	コンフィギュレーションモードを開始して、IP Phone、インターコム回線、音声ポート、またはメッセージ待機インジケータ (MWI) のディレクトリ番号を定義します。 • <i>dn-tag</i> — 構成タスク中に特定のディレクトリ番号を指定します。範囲は 1 からルータープラットフォームで許可されたディレクトリ番号の最大数、または max-dn コマンドで定義された最大数です。? と入力して、範囲を表示します。
ステップ 4	number number 例： Router(config-ephone-dn)# number 3001 または Router(config-register-dn)# number 3001	Cisco Unified CME の IP Phone に割り当てられるディレクトリ番号に電話番号を関連付けます。 • <i>number</i> — E.164 電話番号を示す最大 16 文字の文字列。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	<p>allow watch</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn)# allow watch</pre> <p>または</p> <pre>Router(config-register-dn)# allow watch</pre>	<p>このディレクトリ番号に関連付けられた電話回線をプレゼンスサービスのウォッチャがモニタできるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、ephone-dn テンプレート コンフィギュレーションモードで設定して1つ以上の電話機に適用することもできます。ephone-dn コンフィギュレーションはephone-dn テンプレート コンフィギュレーションよりも優先されます。
ステップ 6	<p>end</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn)# end</pre> <p>または</p> <pre>Router(config-register-dn)# end</pre>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

SCCP 電話機を使用するスピードダイヤルと通話リストの BLF モニタリングの有効化

BLF スピードダイヤルおよび BLF コールリストのプレゼンス機能により、ウォッチャは内部および外部ディレクトリ番号（プレゼンティティ）に関連付けられた回線のステータスをモニタできます。SCCP を使用する IP Phone で BLF 通知機能を有効にするには、次の手順を実行します。



制約事項

- コール リストのデバイスベース BLF モニタリングはサポートされません。
- デバイスベース BLF スピードダイヤル モニタリングはリモート ウォッチャまたはプレゼンティティにはサポートされません。

BLF 通話リスト

- Cisco Unified IP Phone 7905/7906/7911/7912/7931/7940/7960/7985、Cisco Unified IP Phone Expansion Module、Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

BLF スピードダイヤル

- Cisco Unified IP Phone 7905/7906/7911/7912/7985、Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

Cisco Unified IP Phone 7931

- BLF ステータスはモニタ ランプによってのみ表示されます。BLF ステータスのアイコンは表示されません。

始める前に

- Cisco Unified CME ルータでプレゼンスが有効になっていること。[内部回線に関するプレゼンスの有効化](#)を参照してください。
- BLF 状態を通知するには、ディレクトリ番号が **allow watch** コマンドで **presentity** として有効化する必要があります。[ディレクトリ番号ウォッチの有効化](#)を参照してください。
- デバイスベース モニタリングには、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンが必要。モニタする電話機に関連付けられたすべてのディレクトリ番号を **allow watch** コマンドを使用して構成する必要があります。そうでないと、いずれかのディレクトリ番号がこの設定を省略した場合に、正しくないステータスがウォッチャに報告される可能性があります。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone phone-tag**
4. **button button-number {separator} dn-tag [,dn-tag...] [button-number{x} overlay-button-number] [button-number...]**
5. **blf-speed-dial tag number label string [device]**
6. **presence call-list**
7. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<p>enable</p> <p>例 :</p> <pre>Router> enable</pre>	<p>特権 EXEC モードを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<p>configure terminal</p> <p>例 :</p> <pre>Router# configure terminal</pre>	<p>グローバル構成モードを開始します。</p>
ステップ 3	<p>ephone phone-tag</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config)# ephone 1</pre>	<p>ephone コンフィギュレーションモードを開始して、SIP 電話機に電話固有のパラメータを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>phone-tag</i>— 構成する電話機の一意のシーケンス番号。範囲は、バージョンとプラットフォームに依存します。? と入力すると、範囲を表示できます。max-ephones コマンドを使用すると、この引数の上限を変更できます。
ステップ 4	<p>button button-number {separator} dn-tag [,dn-tag...] [button-number {x} overlay-button-number] [button-number...]</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone)# button 1:10 2:11 3b12 4o13,14,15</pre>	<p>ボタン番号と回線特性を電話機のディレクトリ番号に関連付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>button-number</i> — IP Phone の回線ボタンの数。 • <i>separator</i>— ボタンに関連付ける特性のタイプを表す 1 文字。 • <i>dn-tag</i>— このボタンに表示する ephone-dn の一意のシーケンス番号。オーバーレイ回線 (o または c) の場合、この引数には、カンマ区切りで最大 25 の ephone-dn タグを含めることができます。 • x— オーバーレイ ロールオーバー ボタンを作成するセパレータ。 • <i>overlay-button-number</i>— このボタンをオーバーフローするオーバーレイボタンの番号。
ステップ 5	<p>blf-speed-dial tag number label string [device]</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone)# blf-speed-dial 3 3001 label sales device</pre>	<p>電話機のスピードダイヤルに関連付けられたディレクトリ番号の BLF モニタリングを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>tag</i>— スピードダイヤル インデックスを識別する番号。範囲 : 1 ~ 33。 • <i>number</i>— スピードダイヤルする電話番号。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> • string— スピードダイヤルボタンを識別する英数字ラベル。文字列は、最大 30 文字を指定できます。 • device— (オプション) 電話ベースのモニタリングを有効化します。このキーワードは Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされています。
<p>ステップ 6</p>	<p>presence call-list</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone)# presence call-list</pre>	<p>この電話機のディレクトリおよびコールリストに表示されるディレクトリ番号の BLF モニタリングを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モニタされるディレクトリ番号は、allow watch コマンドで有効にしておく必要があります。 • この Cisco Unified CME システムのすべての電話機のコールリストについて BLF モニタリングを有効にするには、このコマンドをプレゼンスモードで使用します。「内部回線に関するプレゼンスの有効化 (7 ページ)」を参照してください。
<p>ステップ 7</p>	<p>end</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone)# end</pre>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

例

次の例では、内線 2001 および 2003 のディレクトリ番号のウォッチが許可され、これらの番号の BLF ステータスが電話機 1 に表示されることを示します。

```
ephone-dn 201
number 2001
allow watch
!
!
ephone-dn 203
number 2003
allow watch
!
!
ephone 1
mac-address 0012.7F54.EDC6
blf-speed-dial 2 201 label "sales" device
blf-speed-dial 3 203 label "service" device
button 1:100 2:101 3b102
```

次のタスク

Cisco Unified Cisco Mobility Express の SCCP 電話機向けパラメータの変更後、**create cnf-files** コマンドを使用して新しい構成プロファイルを生成し、**restart** コマンドを使用して電話機を再起動します。「[SCCP : restart コマンドの使用](#)」の「[SCCP : SCCP 電話機用構成ファイルの生成](#)」を参照してください。

SIP 電話機を使用するスピードダイヤルと通話リストの BLF モニタリングの有効化

BLF スピードダイヤルおよび BLF コールリストのプレゼンス機能により、ウォッチャは内部および外部ディレクトリ番号（プレゼンティティ）に関連付けられた回線のステータスをモニタリングできます。SIP 電話機で BLF 通知機能を有効にするには、次の手順を実行します。



制約事項

- デバイスベース BLF スピードダイヤル モニタリングはリモート ウォッチャまたはプレゼンティティにはサポートされません。
- TCP ベース、デバイスベースの BLF スピードダイヤルモニタリングは、Unified Cisco Mobility Express ではサポートされていません。

BLF 通話リスト

- Cisco Unified IP Phone 7905/7906/7911/7912/7931/7940/7960/7985、Cisco Unified IP Phone Expansion Module、Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

BLF スピードダイヤル

- Cisco Unified IP Phone 7905/7906/7911/7912/7985、Cisco Unified IP Conference Station ではサポートされません。

始める前に

- Cisco Unified CME ルータでプレゼンスが有効になっていること。[内部回線に関するプレゼンスの有効化](#)を参照してください。
- BLF 状態を通知するには、ディレクトリ番号が **allow watch** コマンドで **presentity** として有効化する必要があります。[ディレクトリ番号ウォッチの有効化](#)を参照してください。
- SIP 電話機が、音声登録プール構成モードで構成された場合（**number** コマンドの **dn** キーワード）、直接回線番号は、サポートされません。
- デバイスベース モニタリングには、Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンが必要。モニタする電話機に関連付けられたすべてのディレクトリ番号を **allow watch** コマンドを使用して構成する必要があります。そうでないと、いずれかのディレクトリ番号がこの設定を省略した場合に、正しくないステータスがウォッチャに報告される可能性があります。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register pool *pool-tag***
4. **number *tag dn dn-tag***
5. **blf-speed-dial *tag number label string* [**device**]**
6. **presence call-list**
7. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	voice register pool <i>pool-tag</i> 例： Router(config)# voice register pool 1	音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定します。 • <i>pool-tag</i> — 構成する SIP 電話機の一意のシーケンス番号。範囲は、バージョンとプラットフォームに依存します。? と入力すると、範囲を表示できます。max-pool コマンドを使用すると、この引数の上限を変更できます。
ステップ 4	number <i>tag dn dn-tag</i> 例： Router(config-register-pool)# number 1 dn 2	ディレクトリ番号を SIP 電話機に割り当てます。 • number コマンドが複数ある場合の識別子。範囲は 1 ~ 10 です。 • <i>dn-tag</i> —voice register dn コマンドを使用して定義したディレクトリ番号タグ。
ステップ 5	blf-speed-dial <i>tag number label string</i> [device] 例： Router(config-register-pool)# blf-speed-dial 3 3001 label sales device	電話機のスピードダイヤルに関連付けられたディレクトリ番号の BLF モニタリングを有効にします。 • <i>tag</i> — スピードダイヤル インデックスを識別する番号。範囲：1 ~ 7。 • <i>number</i> — スピードダイヤルする電話番号。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> • string— スピードダイヤルボタンを識別する英数字ラベル。文字列は、最大 30 文字を指定できます。 • device— (オプション) 電話ベースのモニタリングを有効化します。このキーワードは Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでサポートされています。
ステップ 6	<p>presence call-list</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-register-pool)# presence call-list</pre>	<p>この電話機のディレクトリおよびコールリストに表示されるディレクトリ番号の BLF モニタリングを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モニタ対象のディレクトリ番号については、allow watch コマンドで有効にする必要があります。 • この Cisco Unified CME システムのすべての電話機のコールリストについて BLF モニタリングを有効にするには、このコマンドをプレゼンスモードで使用します。 内部回線に関するプレゼンスの有効化を参照してください。
ステップ 7	<p>end</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-register-pool)# end</pre>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

次のタスク

Cisco Unified Cisco Mobility Express の SIP 電話機向けパラメータの変更が終わったら、**create profile** コマンドを使用して新しい構成プロファイルを生成し、**restart** コマンドを使用して電話機を再起動します。「[SCCP : SIP Mute 構成プロファイルの生成](#)」および「[SCCP : restart コマンドに使用](#)」を参照してください。

BLF スピードダイヤルメニューの有効化



制約事項

- EM ユーザは、電話機ユーザ インターフェイス (UI) からログアウト プロファイルを変更できません。
- エクステンション モビリティ (EM) ユーザが BLF スピードダイヤル番号を更新するには、EM にログインする必要があります。

始める前に

- Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone phone-tag**
4. **blf-speed-dial [index index number] [phone-number number] [label label text]**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone phone-tag 例： Router(config)# ephone 10	ephone コンフィギュレーションモードを開始します。 • phone-tag : BLF スピードダイヤル番号を設定する電話機の一意の番号。
ステップ 4	blf-speed-dial [index index number] [phone-number number] [label label text] 例： Router(config-ephone)#blf-speed-dial 1 2001 label "customer support"	この電話機に BLF スピードダイヤル番号のエントリを作成します。 • BLF-speed-dial index : 設定中にこのエントリを識別する固有識別子。範囲は 1 ~ 75 です。 • phone number : ダイヤルする電話番号または内線。
ステップ 5	end 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

外部回線をウォッチするプレゼンスの構成

リモート Cisco Unified CME ルータ上の外部ディレクトリ番号を内部ウォッチャがモニタできるようにするには、次の手順を実行します。

始める前に

プレゼンスサービスが内部回線用に有効になっていること。[内部回線に関するプレゼンスの有効化](#)を参照してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **presence**
4. **server ip-address**
5. **allow subscribe**
6. **watcher all**
7. **sccp blf-speed-dial retry-interval seconds limit number**
8. **exit**
9. **voice register global**
10. **authenticate presence**
11. **authenticate credential tag location**
12. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	presence 例： Router(config)# presence	プレゼンス サービスを有効にし、プレゼンス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	server ip-address 例： Router(config-presence)# server 10.10.10.1	プレゼンス要求を内部ウォッチャから外部プレゼンティティへ送信するための、プレゼンス サーバの IP アドレスを指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	allow subscribe 例： <pre>Router(config-presence)# allow subscribe</pre>	内部ウォッチャが外部ディレクトリ番号をモニタできるようにします。
ステップ 6	watcher all 例： <pre>Router(config-presence)# watcher all</pre>	外部ウォッチャが内部ディレクトリ番号をモニタできるようにします。
ステップ 7	sccp blf-speed-dial retry-interval seconds limit number 例： <pre>Router(config-presence)# sccp blf-speed-dial retry-interval 90 limit number 15</pre>	(任意) SCCP を実行中の電話機のスピードダイヤル番号の BLF モニタリングに、再試行タイムアウトを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>seconds</i> — 秒単位の再試行タイムアウト。範囲：60 ~ 3600。デフォルトは 60 です。 • <i>number</i> — 最大再試行回数。範囲：10 ~ 100。デフォルトは 10 です。
ステップ 8	exit 例： <pre>Router(config-presence)# exit</pre>	プレゼンス コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 9	voice register global 例： <pre>Router(config)# voice register global</pre>	音声登録グローバル構成モードを開始して、Cisco Unified CME 環境でサポートされるすべての SIP 電話機に対してグローバルパラメータを設定します。
ステップ 10	authenticate presence 例： <pre>Router(config-register-global)# authenticate presence</pre>	(任意) リモートプレゼンス サーバからの着信プレゼンス要求の認証を可能にします。
ステップ 11	authenticate credential tag location 例： <pre>Router(config-register-global)# authenticate credential 1 flash:cred1.csv</pre>	(任意) プレゼンス サブスクリプション要求の認証に使用するクレデンシャル ファイルを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>tag</i> — プレゼンス認証に使用するログイン情報 ファイルを識別する番号。範囲：1 ~ 5。 • <i>location</i> — URL フォーマットの 認証情報ファイルの名前と場所。有効な保存場所は、TFTP、HTTP、およびフラッシュ メモリです。
ステップ 12	end 例：	特権 EXEC モードに戻ります。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config-register-global)# end	

プレゼンス構成の確認

ステップ1 show running-config

このコマンドを使用して、設定を確認します。

```
Router# show running-config
!
voice register global
 mode cme
 source-address 10.1.1.2 port 5060
 load 7971 SIP70.8-0-1-11S
 load 7970 SIP70.8-0-1-11S
 load 7961GE SIP41.8-0-1-0DEV
 load 7961 SIP41.8-0-1-0DEV
 authenticate presence
 authenticate credential 1 tftp://172.18.207.15/labtest/cred1.csv
 create profile sync 0004550081249644
.
.
.
presence
 server 10.1.1.4
 sccp blf-speed-dial retry-interval 70 limit 20
 presence call-list
 max-subscription 128
 watcher all
 allow subscribe
!
sip-ua
 presence enable
```

ステップ2 show presence global

このコマンドを使用して、プレゼンスの設定を確認します。

```
Router# show presence global

Presence Global Configuration Information:
=====
Presence feature enable           : TRUE
Presence allow external watchers  : FALSE
Presence max subscription allowed  : 100
Presence number of subscriptions  : 0
Presence allow external subscribe : FALSE
Presence call list enable         : TRUE
Presence server IP address        : 0.0.0.0
Presence sccp blfsd retry interval : 60
Presence sccp blfsd retry limit   : 10
Presence router mode              : CME mode
```

ステップ3 show presence subscription [details | presentity telephone-number | subid subscription-id summary]

このコマンドを使用して、アクティブプレゼンスサブスクリプションに関する情報を表示します。

```
Router# show presence subscription summary
```

```
Presence Active Subscription Records Summary: 15 subscription
Watcher Presentity SubID Expires SibID Status
=====
6002@10.4.171.60 6005@10.4.171.34 1 3600 0 idle
6005@10.4.171.81 6002@10.4.171.34 6 3600 0 idle
6005@10.4.171.81 6003@10.4.171.34 8 3600 0 idle
6005@10.4.171.81 6002@10.4.171.34 9 3600 0 idle
6005@10.4.171.81 6003@10.4.171.34 10 3600 0 idle
6005@10.4.171.81 6001@10.4.171.34 12 3600 0 idle
6001@10.4.171.61 6003@10.4.171.34 15 3600 0 idle
6001@10.4.171.61 6002@10.4.171.34 17 3600 0 idle
6003@10.4.171.59 6003@10.4.171.34 19 3600 0 idle
6003@10.4.171.59 6002@10.4.171.34 21 3600 0 idle
6003@10.4.171.59 5001@10.4.171.34 23 3600 24 idle
6002@10.4.171.60 6003@10.4.171.34 121 3600 0 idle
6002@10.4.171.60 5002@10.4.171.34 128 3600 129 idle
6005@10.4.171.81 1001@10.4.171.34 130 3600 131 busy
6005@10.4.171.81 7005@10.4.171.34 132 3600 133 idle
```

プレゼンスサービスのトラブルシューティング

次のコマンドを使用すると、プレゼンスサービスのトラブルシューティングを行うことができます。

- `debug presence {all | asnl | errors | event | info | timer | trace | xml}`
- `debug ephone blf [mac-address mac-address]`

プレゼンスサービスの構成例

Cisco Unified Cisco Mobility Express でのプレゼンス構成例

```
Router# show running-config

Building configuration...

Current configuration : 5465 bytes
!
version 12.4
service timestamps debug datetime msec
service timestamps log datetime msec
no service password-encryption
!
hostname CME-3825
!
boot-start-marker
boot-end-marker
```

```
!  
logging buffered 2000000 debugging  
enable password lab  
!  
no aaa new-model  
!  
resource policy  
!  
no network-clock-participate slot 1  
no network-clock-participate slot 2  
ip cef  
!  
!  
no ip domain lookup  
!  
voice-card 1  
no dspfarm  
!  
voice-card 2  
no dspfarm  
!  
!  
voice service voip  
allow-connections sip to sip  
h323  
sip  
registrar server expires max 240 min 60  
!  
voice register global  
mode cme  
source-address 11.1.1.2 port 5060  
load 7971 SIP70.8-0-1-11S  
load 7970 SIP70.8-0-1-11S  
load 7961GE SIP41.8-0-1-0DEV  
load 7961 SIP41.8-0-1-0DEV  
authenticate presence  
authenticate credential 1 tftp://172.18.207.15/labtest/cred1.csv  
create profile sync 0004550081249644  
!  
voice register dn 1  
number 2101  
allow watch  
!  
voice register dn 2  
number 2102  
allow watch  
!  
voice register pool 1  
id mac 0015.6247.EF90  
type 7971  
number 1 dn 1  
blf-speed-dial 1 1001 label "1001"  
!  
voice register pool 2  
id mac 0012.0007.8D82  
type 7912  
number 1 dn 2  
!  
interface GigabitEthernet0/0  
description $ETH-LAN$$ETH-SW-LAUNCH$$INTF-INFO-GE 0/0$  
ip address 11.1.1.2 255.255.255.0  
duplex full  
speed 100  
media-type rj45
```

```
no negotiation auto
!
interface GigabitEthernet0/1
no ip address
shutdown
duplex auto
speed auto
media-type rj45
negotiation auto
!
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 11.1.1.1
!
ip http server
!
!
!
tftp-server flash:Jar41sccp.8-0-0-103dev.sbn
tftp-server flash:cvm41sccp.8-0-0-102dev.sbn
tftp-server flash:SCCP41.8-0-1-0DEV.loads
tftp-server flash:P00303010102.bin
tftp-server flash:P00308000100.bin
tftp-server flash:P00308000100.loads
tftp-server flash:P00308000100.sb2
tftp-server flash:P00308000100.sbn
tftp-server flash:SIP41.8-0-1-0DEV.loads
tftp-server flash:apps41.1-1-0-82dev.sbn
tftp-server flash:cnu41.3-0-1-82dev.sbn
tftp-server flash:cvm41sip.8-0-0-103dev.sbn
tftp-server flash:dsp41.1-1-0-82dev.sbn
tftp-server flash:jar41sip.8-0-0-103dev.sbn
tftp-server flash:P003-08-1-00.bin
tftp-server flash:P003-08-1-00.sbn
tftp-server flash:POS3-08-1-00.loads
tftp-server flash:POS3-08-1-00.sb2
tftp-server flash:CP7912080000SIP060111A.sbin
tftp-server flash:CP7912080001SCCP051117A.sbin
tftp-server flash:SCCP70.8-0-1-11S.loads
tftp-server flash:cvm70sccp.8-0-1-13.sbn
tftp-server flash:jar70sccp.8-0-1-13.sbn
tftp-server flash:SIP70.8-0-1-11S.loads
tftp-server flash:apps70.1-1-1-11.sbn
tftp-server flash:cnu70.3-1-1-11.sbn
tftp-server flash:cvm70sip.8-0-1-13.sbn
tftp-server flash:dsp70.1-1-1-11.sbn
tftp-server flash:jar70sip.8-0-1-13.sbn
!
control-plane
!
dial-peer voice 2001 voip
preference 2
destination-pattern 1...
session protocol sipv2
session target ipv4:11.1.1.4
dtmf-relay sip-notify
!
presence
server 11.1.1.4
sccp blf-speed-dial retry-interval 70 limit 20
presence call-list
max-subscription 128
watcher all
allow subscribe
!
sip-ua
```



```
authentication username jack password 021201481F
presence enable
!
!
telephony-service
load 7960-7940 P00308000100
load 7941GE SCCP41.8-0-1-0DEV
load 7941 SCCP41.8-0-1-0DEV
load 7961GE SCCP41.8-0-1-0DEV
load 7961 SCCP41.8-0-1-0DEV
load 7971 SCCP70.8-0-1-11S
load 7970 SCCP70.8-0-1-11S
load 7912 CP7912080000SIP060111A.sbin
max-ephones 100
max-dn 300
ip source-address 11.1.1.2 port 2000
url directories http://11.1.1.2/localdirectory
max-conferences 6 gain -6
call-forward pattern .T
transfer-system full-consult
transfer-pattern .T
create cnf-files version-stamp Jan 01 2002 00:00:00
!
!
ephone-dn 1 dual-line
number 2001
allow watch
!
!
ephone-dn 2 dual-line
number 2009
allow watch
application default
!
!
ephone-dn 3
number 2005
allow watch
!
!
ephone-dn 4 dual-line
number 2002
!
!
ephone 1
mac-address 0012.7F57.62A5
fastdial 1 1002
blf-speed-dial 1 2101 label "2101"
blf-speed-dial 2 1003 label "1003"
blf-speed-dial 3 2002 label "2002"
type 7960
button 1:1 2:2
!
!
!
ephone 3
mac-address 0015.6247.EF91
blf-speed-dial 2 1003 label "1003"
type 7971
button 1:3 2:4
!
!
!
line con 0
```

```

exec-timeout 0 0
password lab
stopbits 1
line aux 0
stopbits 1
line vty 0 4
password lab
login
!
scheduler allocate 20000 1000
!
end

```

プレゼンス サービスの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェアリリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 2: プレゼンス サービスの機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	変更内容
BLF スピードダイヤルのための電話機ユーザーインターフェイス	8.5	電話機ユーザーインターフェイスを経由した BLF スピードダイヤルのサポートが追加されました。
BLF モニタリング	7.1	<ul style="list-style-type: none"> デバイスベース BLF モニタリングのサポートが追加されました。 DnD、通話パーク、ページング、および会議での ephone-DN の BLF モニタリングのサポートが追加されました。
プレゼンス サービス	4.1	BLF によるプレゼンスが導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。